

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について②（区西部）

新宿区・中野区・杉並区

1 選定病院

慶應義塾大学病院（新宿区）

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目		事業計画
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・現場経験の少ない若手療法士やかかりつけ医を対象とした知識・技術情報提供だけでなく、ベテラン療法士にとっても有用な最新のリハビリトピックスなども含めた研修会や症例検討会を開催（2～3回/年） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・同上
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・研修会や症例検討会を開催し、リハビリテーションの知識普及や連携強化を図る。グループワーク形式により他職種との交流の場とする。（2～3回/年） (2) ケアマネジャーへの研修 ・ケアマネジャーから要望の高い内容を情報収集し、研修会を開催（2～3回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・個別対応（日時：特に決まりなし）
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・新宿区地域リハビリ連絡会（2～3回/年） ・新宿区リハビリテーション連携検討会への座長、スーパーバイザーとして参加 ・区西部リハビリテーション連絡会（ホームページ立ち上げ、会員登録募集、ウェブ上での症例検討会）
	若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入	(1) 受入予定人数 ・3人/年 (2) 研修内容（予定） ・脳卒中リハ、心臓リハ、呼吸リハ、がんリハ、運動器リハ等における評価、訓練に関する研修
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハビリテーション支援事業等への支援 ・新宿区リハビリテーション連携検討会への座長、スーパーバイザーとして参加し、マニュアル、研修会資料作成、研修会開催等を実施 (2) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・ITを活用した大都市圏脳卒中診療連携体制構築事業「リハナビ東京」の運用検討 (3) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・区西部高次脳機能障害支援地域ネットワーク連絡会開催、連携施設から電話等で相談対応し、一部は医療連携室を通じて当科の診療に繋げている。	
【総合評価】 ・人員体制（医師・療法士）が充実している。実績は評価できる。 ・新宿に限らず、中野区、杉並区への展開を望みたい。 ・地域との連携のあり方をより具体化してほしい。 ・施設の役割からテーマが急性期になりやすいため、今後は介護等支援への取組を期待 ・実績はあり、今後は地域包括ケアとの関連を深めていくよう検討を進めてほしい。		

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 1か所	無 2か所	有 1か所	無 2か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○新宿区 ・リハビリテーション（摂食嚥下機能を含む）に関する連携検討会の参加（座長・委員） ・リハビリテーション（摂食嚥下機能を含む）に関するリーフレット作成時の監修 ・摂食嚥下機能研修会の開催協力 ・地域リハビリテーション推進事業研修会「栄養とリハビリ」共催		【連携内容】 ○新宿区医師会 ・新宿区リハビリテーション連携検討会に医師会より3名の医師が出席	
指定に対する意見	○新宿区 ・地域の中核的な医療機関として、今後も機能することを期待 ○中野区 ・リハビリテーションの拠点病院として、地域への専門的な支援を期待		○新宿区医師会 ・現状で問題は感じていない。	
事業計画に対する意見	○中野区 ・事業計画にある摂食嚥下についての相談や地域の関係団体への支援について期待する。			